「公民ダッシュボード」を活用した授業の提案 一データを読み取り、批判的に考察する学習―

横浜市立横浜商業高等学校教諭 真所 佳代

「公民ダッシュボード」とは、数研出版によるオリジナルの統計サイトで、探究活動等において、出典が確かな統計データにアクセスできるようにしたものである。その活用場面としては、思考力・判断力・表現力を育成・評価する際の、レポート等の作成が挙げられるだろう。

レポート課題を提示した時、生徒は、問いに対してインターネットで検索し、ある程度まとまったサイトの内容を要約したものを提出してくることはないだろうか。このような現象が起こる原因の一つとして、膨大な情報の中から適切な資料を見つけるのが困難であることが挙げられる。また、教師が課題を作成するときに、必要なデータを探すのに苦労することもあるだろう。そこで、データがまとまった「公民ダッシュボード」を活用することにより、その問題を解消することができる。

ここでは、「公民ダッシュボード」を用いて、データを読み取り、批判的に考察する学習を提案する。

1. データを読み取る

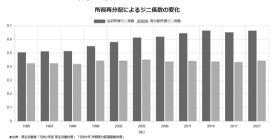


図1 所得再分配によるジニ係数の変化 (「公民ダッシュボード」より)

図1のグラフからどのようなことが読み取れるだろうか。

図 1 からは、当初所得のジニ係数よりも、再分配後のジニ係数の方が小さいことが読み取れる。したがって、所得再分配によって格差が縮小していることがわかる。また、当初所得のジニ係数は年々増加傾向にあり、格差が拡大しているが、再分配所得のジニ係数はほぼ横ばいであることもわかる。そこから、再分配による格差の改善度が上昇しているこ

とが推察できる。

2. 疑問をもたせる

従来は、教師が提示した課題に対し、生徒が答えるというスタイルが一般的であったが、今後は、生徒がこのデータを見て疑問をもつことにより、批判的思考力を高めることができるだろう。どんな小さなことでも、できるだけたくさんの疑問を挙げさせるのである。その疑問をペアやグループで共有することで、多様な気づきを得られるだろう。

例えば、次のような疑問が考えられる。

- ・格差が広がると社会にどのような影響が出るのか。
- ・所得再分配として,具体的にどのようなものがあるか。
- ・所得再分配の課題はないだろうか。
- ・再分配後の所得の格差はこれ以上縮まらないのか。

3. 自分の疑問に対してレポートを作成する

1.で読み取ったことと、2.で挙げた疑問に対して、調べたり考察させたりして、レポートを作成させる。なお、思考力・判断力・表現力とは、課題に対する解決方法を探して実行するとともに、振り返って次の問題発見・解決に繋げていくプロセスである¹゚。当初の疑問が解消しても、さらに疑問をもつことで思考を深めることができるだろう。その際、さらにデータが必要になったときに、すぐにアクセスできるのも、「公民ダッシュボード」の強みである。

4. 評価のポイント

以上から、評価のポイントとしては、①データを 読み取っている、②データに対する疑問をもつこと ができる、③自分の疑問に対して調べたり考察した りしている、④結論からさらに疑問をもって追究し ている、などが挙げられる。ルーブリック等を作成 することで、生徒の学習活動の指針となるだろう。

【注】

1)文部科学省(2019)「高等学校学習指導要領(平成30 年告示)解説 総則編」p.41

公民ダッシュボード



左の二次元コードから, 教科書に関連したグラフや 統計データにアクセスしよう!

ダッシュボードとは?

さまざまな統計データなどを一覧で示したもの。 もともとは自動車などの運転席にある計器類の ことをさす。

教科書に関連した グラフや統計データに

アクセスしよう!

トップページ

倫理,政治,経済, 国際社会の分野を 取り上げている。

政治

FTHICS

倫理







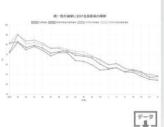


HMOADICAGGERRING (1004)

一般会計の機入の制命



グラフ・統計・解説ページ



教科書内で理解して おきたい用語や概念に ついての解説ページも!

データボタンから, グラフ・統計の 詳細データをダウンロードできる。

サムネイル画像をタップした後に現れる画像ボタンから, グラフ・統計の画像をダウンロードできる。

その他のデジタルコンテンツについて

この教科書では、公民ダッシュ ボードのほかにも、教科書の内 容に関連したデジタルコンテン ツを利用することができます。

・確認テスト

教科書に掲載されている重要語 句を一問一答の形式で確認する ことができるコンテンツを収録 しています。

・関連サイトへのリンク

教科書の内容に関連する動画や 資料を閲覧することができる Webサイトへのリンクを多数掲載しています。

具体的にはどんな場面で使う?

探究活動の授業や長期休暇中の課題探究の際に、出典が確かな 統計データを探すための最初のステップとして活用しよう。

→統計については→課題探究の方法はp.148 ~ p.149 を参照。p.236 ~ p.247 を参照。

※『改訂版 公共』口絵①,『改訂版 高等学校 公共 一これからの社会について考える一』前見返し③に同様の紙面を掲載しています。

